

議会だより

Report of City Assembly

2005-7

9号

平成17年7月発行

着々と進む復旧工事



国道377号線災害現場（入野山地区）

目次

議会報告	2
建設経済常任委員会報告	3
一般質問	4
議会日誌	12



6月定例会は6日に開会し、会期を23日までの18日間とし、条例改正4件、補正予算4件、報告その他20件、合計28件を慎重審議し、原案通り可決しました。産業廃棄物処理場設置反対の請願書については、民生常任委員会で継続審査となりました。なお本会議において、道路橋りょう費、委託料削減の修正案が提出されたが否決されました。

平成17年度 一般会計補正予算

補正額 4,516万円

補正後

147億9,314万7千円

平成17年度 下水道事業特別会計補正予算

補正額 773万8千円

補正後

5億1,506万4千円

平成17年度 水道事業会計補正予算

	補正額	補正後
収益的支出	400万円	5億9,890万8千円
資本的収入	6,240万円	1億4,164万4千円

条例の改正

◎市職員の旅費に関する条例を一部改正

※公務旅費を実費支給とする

◎市防災会議条例を一部改正

※防災会議委員追加

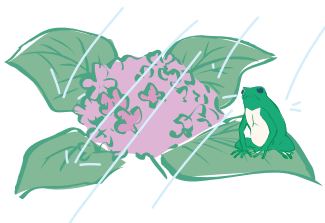
◎市に於ける若者定住促進のための特別措置に関する条例を一部改正

※条例失効を十八年三月三十一日に改正

一日に改正

◎市営住宅条例及び市営若者定住促進住宅条例を一部改正

※入居資格を追加



建設経済常任委員会報告

「カーニバル補助金減額の修正案が提出される」

平成十七年六月定例会において建設経済常任委員会に付託された議案について、審査した結果は、次のとおりである。

下水道事業特別会計と水道事業会計の補正予算二議案については、全会一致で可決することに決定した。

一般会計補正予算は、修正案が出されたが採決の結果、修正案否決、原案可決となった。

一般会計補正予算についての答弁は次のとおりである。

問 議会が採択した道路整備を要望する陳情が四件ほどあるが、これらが予算に反映されていない、今後の予定はないのか。

答 地元調整が完了した箇所から測量に入る予定であるが、用地面で難航している箇所もある。

問

施政方針で中止すると声明したにもかかわらず、人形劇カーニバル補助金が追加補正されているが、施政方針と相反する補正予算が提案されたのは、議会無視ではないか。

答

当初予算編成までに議会の理解を得るに至らなかったもので、予算計上しなかったが、政策として続けたいという意向を説明したつもりである。

問

本会議・委員会の審議の中で、部課長が答弁したことについて、その発言内容の議会に対する責任は誰にあるのか。

答

第一義的には、本人にあり、その次の責任は市長にある。

修正案について

修正案の提出があり、提出者から施政方針で人形劇カーニバル中止を表明して

からわずか、三か月後に実施するとして、三八〇万円の補正予算が提案されたが、これを認めると従来型になる危険性があるので、プロ招聘の費用二八〇万円を減額し、補助金を一〇〇万円に修正するとの説明があった。

問

一〇〇万円で十分なものができるだろうか。減額するならむしろゼロにするべきだが、補助金減額後の人形劇カーニバルは財団が行うのか、商工観光室が行うのか

答

人形劇については、財団が行うべきであり補助金以外の財源確保に努力すべきである。

他に数件の質疑、答弁があったが採決の結果、修正案は賛成三、反対四で否決され、原案は賛成多数で可決された。

★全国
第21回

とらまるカーニバル
(レクリエーションと人形劇のカーニバル改め)



9
17 出
18 出
19 出

8 愛知 よろず劇場 とんがらし

まいごのおまわりさん



17 出
18 出
19 出
20 出
21 出

一 般 質 問

16人が質問に立つ

市民活動支援 条例について



田中 貞男

問

コミュニティ支援として年間八〇万円しかなく寂しい限りである。地域の活力を生むには条例を作るべきでないか。市川市は納税意識の向上と市民の福祉増進を考え納税者の中から審査委員を選び、市民税の１％基金条例を作っているが本市でも取り組んでみては。

答

厳しい財政状況の中、自治会助成金の算定方式を変更、減額をさせていただいた。自主防災で活動助成し、コミュニティ施策として整理・体系されたものでない。本市の

基本構想の中にも活動支援、市民主導の街づくり「シンボルプロジェクト」の中に掲げられている。市民主導のまちづくりを推進していくには、積極的にサポートする支援策が必要と考え、制度設計をまとめるよう指示をしており、画一的な助成でなく地域の連携を深め、市民の発案と自主活動に対して何がいいか、金銭支援か人的支援又はノウハウ等の情報提供なのか、見極めながら支援の枠組みを検討して行きたい。



海岸清掃

人形劇カーニバルについて



橋本 守

問

市長は、去る三月議会において施政方針演説をされましたが、これは市政に取り組む自らの考え方を、議会に示したものと受け止めますが、その中で、「十七年度は長年続けてきましたレクと人形劇のカーニバルを中止することといたしました」と述べておられます。

このカーニバルに対する市の補助金につきましては、これまで予算審議の度に、問題点が指摘されておりましたので、市長もついに中止に踏切ったかと、その勇断を歓迎していたところであります。

カーニバルの収支決算を

答

無理は重々承知の上で、このたびの補正予算をお願い申し上げました。議会審議における私の発言内容に関しては、当然私がいかなる責任も負うものであります。

このたびのカーニバルの一件に関しましては、混乱を招いたことは、私の力不足であり、ご批判は真摯に受け止める所存であります。

検査した監査委員から、経理が不明瞭であるとの監査委員の検査報告もなされております。

施政方針と矛盾する議案を、提案するに至ったことに対する市長の所信と、議会審議、引いては議会の存在に対する市長の所信をお伺いします。



実効性のある狭あい道路拡幅対策を



楠田 敬

問

本市においては、建築基準法どおりに後退した部分が道路として使用できていない箇所が多く見受けられ、建築基準法を補強する市独自の施策が必要であると思われる。本市の4 m以下の狭あい道路はどの程度あるのか、又、その道路拡幅計画をどのように考えているのか、狭あい道路拡幅整備要綱を策定する考えはないか。

答

4 m以下の狭あい道路のデータはないが、市道については、全路線延長310 kmのうち52・3パーセントに当たる

162・3 kmが、狭い道路となっている。この数値も都市計画区域の内外を含めたものであり、路面幅員が4・5 m以下の数値となっている。狭あい道路拡幅計画については建築主や土地所有者のより一層の理解と協力を得て家屋等の取壊しや建て替えに合わせて拡幅できるように努めたい。狭あい道路拡幅整備要綱の策定については、市道以外の地域道の取り扱いや個人の所有権の問題、さらには道路部分として後退した敷地の課税のあり方等複雑な要素も絡んでおり、関係課に慎重かつ速やかに基準の策定を指示したところである。案ができしだいに議員各位の意見を伺いたい。



防災対策について



井上 弘志

問

防災対策として、自治体の基本的な事について伺う。

一、防災会議、さぬき市では2回開いているが、本市では開いた事があるのか

二、緊急告知方法、昨年12月に質問し、サイレン、広報車、消防団による告知と答えられたが、その後の進捗状況は

三、防災物資について、現時点で、どこに、どれだけ準備されているのか
四、ホームページでの災害情報の発信方法は

答

防災会議は今まで開いた事がなく、

近日中に委員を委嘱、会議を開催して防災計画を決定したい。

緊急告知方法は、従来の方法に加え、自治会・自主防災組織役員の携帯へ、メール配信する事を考えている。備蓄物資は、土嚢袋、作成済の土嚢が市内各所に分けて準備されている。避難所への毛布も備蓄している。

食料については、香川県の災害対策本部を通じて、県保有の物資を調達することとしている。

ホームページでの情報発信は、緊急割込みページを設ける機能を備えており、緊急時には、トップページの一番目の項目に緊急情報欄が配置され、情報を発信する。



市内各所に準備されている土嚢

一般質問

東かがわ市の 宣伝戦略について



尾崎 照子

問

合併を期に引田地区は、地域の人達が、観光文化ゾーンとして活性化させようと意識を変えつつあります。ひなまつりが盛大になった陰には、地域の人達が出来る事を考え、出し合い、協力してきたからで、お金に変えがたいものが育まれています。讃州井筒屋敷がオープンして四か月、新しい発想とさらなる財政支援も必要不可欠であります。厳しい財政状況の中で、委託費を支出し運営されている各種施設を、かかわっている職員だけの経営努力にするだけでなく、市に奉職する議員も

答

職員もが、自分の持ち場でなくても宣伝隊員として情報を発信してはどうでしょうか。公務員はサービス業という意識に変え、全てを前向きに取り組む組織に変えるべきと思うが。

職員の意識改革があつてこそ、行政改革が進められる。まさしくそのとおりです。このことは職員のみならず議員各位をはじめ市民の皆さんにも同様の意識を持っていた

だくことが大切です。職員用名刺の台紙には、市の観光名所を印刷しPRの一つとして活用しています。現在進行している行政改革行動計画の項目に盛り込み、職員の意識改革を図り、市のイベント等のPRが実践できるよう取り組みます。



讃州井筒屋敷

道路整備について



好村 昌明

問

道路の整備は、社会整備や住環境整備とともに、安全面からして重要なものと考えています。市の計画にも、生活基盤・社会基盤の整備を行うと書いている。

そこで、引田地区の新開線（国道に沿う中山池から安戸池にぬける道）・県道引田徳島線（引田農免道路）・国道11号線バイパス・その他要望されている道路の整備はどうなっているのか。

また、引田塩屋橋下の地下道工事が進められているが、これが完成すれば臨港線（塩屋橋から小海川下流）は、通行量が多くなると予想されるので道の拡幅と、

答

地下道の照明を強く要望する声がある、どうするか。

新開線は基本設計中であり、保安林解除などを調整中です。徳島引田線は地権者20人ほどで、半数以上の地権者との契約ができており、工事可能箇所から本年度に発注予定と聞いています。

11号バイパスは全体を4工区にわけ、早ければ7月にも水利関係者などと事前協議に着手する予定です。

臨港線は、交通量など把握して検討します。なお、地下道の照明は県に確認し、設置で検討するとの事です。



県道引田徳島線（引田農免道路）

一般質問

工事現場の表示板に工事価格を記載してはどうか



木村 ゆみ

問

市の財政が厳しい中、道路の新設や舗装、水路の改修等、住民が望んだ事業にいくらかっているのかを市民が具体的に現場で知ることができるよう、工事現場の表示板に工事請負金額を記載してはどうでしょうか。

工事価格を知ることによって市民が市政に関心を持ち、自治意識が高まるのではないかと期待されます。「工事価格が知りたければ市役所に出向いて閲覧すればよい」といった態度でなく、積極的な情報公開をすることで「市民と行政の協働のまちづくり」の第一歩となるのでは

答

はないでしょうか。

建設工事等の透明性とコスト意識の向上を図るため、すでに一部の自治体では導入しているようです。

本市でも、維持補修的な工事、落石の撤去や道路陥没など緊急を要する工事、及び少額のものや短期間の工事などを除いた物件については、導入を検討したいと考えます。



行財政改革について



藤井 秀城

問

5月22日付の四国新聞で“どうする、合併市町の超過職員”と題する特集がありました。そして同紙翌日の「一日一言」で“東かがわ市などでは未だ目標なし。民間ではちよつと考えられない話だ”と記されていました。異議があるのかどうか伺います。また、

今、建設が進められている給食センターは現在の古い三か所の施設を一か所に集約し、最新鋭の設備となるわけで、グレードを上げてものもお効率化、合理化が図れると考えます。運営について伺います。

答

指摘のように、本市の定員適正化計画が未着手であるかのような活字が躍り、不愉快な思いをされたことと思います。

本市では定員適正化計画を公表しておらず、検討中と回答しましたが、平成16年2月には素案が完成しており、去る6月15日に検討委員会を開催し、決定しました。合併の前年から12年間で一般職51名を削減。約20パーセント削減の目標数値を定めました。徹底した組織や事務事業の見直し、早期退職勧奨制度の実施により、一年でも前倒しで達成したい。

給食センターの運営についてですが、今、運営委員会で議論が重ねられています。まだ結論は出ていませんが、教育関係は各種の要望が多く、今のところ職員の減には結びついていない。

一般質問

災害復旧と防災について



石橋 英雄

問

原形復旧を基本として復旧工事が行われているが、市の構想でもある災害に強いまちづくりにには至らないと思う。また市長は常々災害に強いまちづくりを力説しています。が、予算にあまり反映されていないように思う。今後の防災への施策を伺います。また、災害復旧工事の発注に際し、十分精査しているとは思いますが、一部不備が見受けられます。その対策は。

答

災害復旧では元の構造物よりも強固なものとなっている所も多くあります。しかし状況によつては、別途手当も必要



急がれる災害復旧現場

と考えます。又防災への取り組みとしては、自主防災組織の充実を図りハード面でも海岸線や河川等々は引き続き国・県へ早急な対策を要望し、市でも既存施設の点検とか、引田港のポンプ場等の施設整備を計画的に実施したい。次に、災害査定時にカットされるなど国庫負担法の対象外の工事や不測の仮設的な工種については市の単独費による付帯工事として施工したい。また一日も早い復旧と円滑な工事執行のために請負業者と十分な協議を行ってまいりたいと考えます。

小さな行政組織を目指した合理化への取り組みは？



板坂 良彦

問

本市の問題点は財政的に大変厳しく、思い切った合理化が必要、そして課題は行政経費の削減と行財政運営の効率化の実現が不可欠として、少数精鋭の小さな行政をめざすとしているが具体策が見えてこない。原因究明をキツチリ行った解決策と財政健全化へ向けた財政規模や構造予測が必要である。職員の意識改革にかかっているが、ものの考え方を大変変化を受入れることが大事である。三年、五年後の指標を示す定量計画が示されていないのは計画でない。期限のない仕事はありません。

答

徹底した組織や事務事業を見直し、都市づくりの理念に基づいた公債比率や人件費、借入れ債残高等の改善指標を設定した改革のスケジュールを示せ。

問題点と原因究明解決への具体案には、新たな行政改革行動計画の見直しにより、定員適正化計画、新庁舎建設計画、幼保一元化等の推進計画、給食センター運営計画及び中期財形計画を重点項目とし、平成十七年度行政改革行動計画を前倒し達成できるように進行管理を行うとともに、行財政特別委員会へも報告を考えている。

変化を受入⇨職員の意識改革

利他の**考え方**
創造する**熱意**
創意工夫する**能力**

仕事の成果

一般質問

多くの住民が反対している
「産廃」計画はストップを



東本 政行

問

引田小海近守地域の
小海川水源地に
産業廃棄物処理場建設計画
がもち上がっている。それ
に対して、二つの地元自治
会、引田漁業組合、水利組
合の代表が、建設反対の署
名、一四九四筆分を添え議
会請願（継続審査になる）
と市長へ陳情が提出されて
いる。この住民の声は、地
域を公害から守りたいとの
切実なものであり全面的に
支持できる内容である。「産
廃は県の仕事、市は、中立
でないといけない」との意
見もあるが、自治体の仕事
は、住民のくらしを守るの
が一番の任務だ。もし産廃

場がつけられ、公害が発生
すれば、県の問題では済ま
されず、最終的に犠牲にな
るのは住民だ。住民代表の
市長は、高松市の一企業の
立場に立つのではなく、地
域住民の立場に立って対応
すべきだ。今産廃建設で問
われているのは、住民の合
意があるかどうか、また、
水源地への建設が好ましい
かどうかである。市長の政
治姿勢を質問する。

答

産廃場設置は県の
許認可事項。しか
し、市の意見を聴くことが
義務付けられている。県へ
周辺環境に支障が生じない
よう、十分な審査をするよ
う申し述べたい。



産廃処分場が計画されている
引田・小海地域

福祉医療の「現物給付」
の導入について



飛谷 美江

問

福祉医療の支払い
は、病院で一括払
いし、後日領収書を市役所
に提出し助成分を受け取る
方式をとっていますが、市
役所からの給付を受けるに
は時間がかかり不便である。
患者さんの病院の窓口での
一括負担を無くし、助成分
を除いた自己負担のみを支
払う、「現物給付」を導入し
てはどうか。

答

本市では、医療費支
給の方法は、原則と
して受給者が医療機関で一部
負担金を支払った後、市へ支
給申請する「償還払い」とし
ております。乳幼児医療支給

事業は、子育て支援の観点か
ら医師会の協力を得て、市内
の病院及び、さぬき市民病院
の外来に限り、一部負担金を
直接市から医療機関に支払う
「現物給付」を実施しておりま
す。この方式は、受給者にと
っては病院で、一部負担金を
支払う必要がないため、便利
な方法であります。反面受
給者の窓口負担による受診抑
制効果がなくなり、受診件数、
医療費が増大する等のデメリ
ットも懸念されます。しかし、
受給者の利便性を高め、福祉
医療制度の効果を向上させる
ためにも「現物給付」を希望
する声が多いのも事実であ
り、そこで支給金額が比較的
少ない「母子家庭等医療費支
給」について「子育て支援」の
観点から「現物給付」の早期
実施に向け準備を進めていき
たいと考えます。「重度心身障
害者医療費支給」については、
支給件数や金額が大きく、国
保、老人保健等に与える影響
も大きいので慎重に検討を進
めてまいりたいと思います。

一 般 質 問

市の商品券事業の見直しについて



矢野 昭男

問

本市の商品券事業は合併前の大内町時代から商工業の振興策として特別会計により運用されてきましたが、現在ではあまり利用もされず旧来の小売店には恩恵も少なく、民間発行の商品券が多くなり、市が独自で本事業を続ける必要はないと思われます。制度の廃止も含めた見直しをしようかおたずねします。

答

市の商品券の平成十六年度販売額は、一千五百万円余りで、慶弔や快気祝いとして利用されているのであらうと考え



東かがわ商品券

れます。商品券事業は、商工業の振興という明確な目的をもって実施されておりますが、その効果について疑問の声があるのも確かであります。このようなことから、現在、事業の見直しに着手しております。具体的には、商品券の取扱指定店全員に商品券の効果や取扱いの意向などについてアンケート調査を行いました。現在、結果の集計中ですが、この調査結果をもとに商工会とも協議し、商工振興審議会へお諮りしたうえで最終的に結論を見出したいと考えております。

過疎・辺地地域の活性化について



安西 忠重

問

市の人口が予想以上に減っている。少子化もあるが若者流出も一因である。

出るのを止められないなら出身者を呼び戻せばよい。都会が望む自然が市にはある。関西圏と高速道でつながった地の利を生かして、戦後集団就職で都会へ出た地元出身者や、「団塊の世代」が退職を迎える二、三年先の動向を見極めながら魅力ある田舎暮らしを呼びかける情報発信を検討すべきである。市長の考えは。

答

市では、過疎・辺地だけでなく市全

体で地域の活性化に取り組んでいる。行政主導でなく、活動主体は地域のみなさんで、行政はサポート役と想っている。Ｕターン・Ｉターン者を引き付けるためには、まず訪れ交流して地域の魅力を感じていただき、リピーターへと育っていく中で、やがて移り住んでいただける交流型観光であるニューツーリズム施策を積極的に展開しながら、この地域の情報を発信していきたいと考えております。



一般質問

引田地区高潮災害の 今後の対策について



中川 利雄

問 昨年の台風、高潮により多数の家屋が床上床下浸水し大きな被害が出ました。早急に高潮対策を行う事が大切だと思います。今後の方針を伺います。

答 高潮対策については国・県・市による連携が必要であり、津波高潮対策が検討されております。ソフト面では防災パンフレット、ハザードマップの作成、防災訓練避難を呼びかける潮位基準の設定があり、行政と地域住民がそれぞれの立場で協力し実施することが重要であり、具

体的な作業に着手していきます。

ハード的には、堤防、護岸といった海岸保全施設で防護すべきであります。施設整備には長い期間と莫大な経費を必要とします。市としては、長時間湛水する地域の解消や避難ルートの確保等について優先的に取り組んでいきます。本年度については防潮水門の修繕や排水施設の整備を進めているところであり、川向地区では引田港埋立地に排水ポンプ場を新設いたします。現在実施設計を発注しており八月中の工事発注を目指しております。



引田港埋立地

大手パチンコ店 進出について



鈴江代志子

問

白鳥大内インター付近に売上高、昨年八、二七七億円全国二百店舗を有する日本大手パチンコ店が出店準備している。

地元では児童の通学交通環境の悪化、土地価値の低下、深夜の騒音・照明の生活環境の変化、限られた人で決められる不満等反対の声が非常に多い。昨今地場産業の低迷により多くの市民が仕事はないが時間はあるという状況下で、娯楽とともに家計の足しにと信じ出かける女性客が増えていると考える。中には借金地獄にのめり込み、家庭崩壊、離婚、主婦売春、自殺と女性

答

法律的に認められ計画されているかぎり、反対に限界がある。意見は言えないが、賭博性が高く、経済効果は波及できず、何ら寄与しないと考

えま



パチンコ店進出予定地（川東）

議 会 日 誌

5月

10日 臨時議会

議会運営委員会

30日 全員協議会

6月

2日 議会運営委員会

本会議

10日 民生常任委員会

13日 建設経済常任委員会

20日 議会運営委員会

22日 本会議（一般質問）

23日 本会議

行財政改革特別委員会

27日 議会広報編集特別委員会

7月

4日 議会広報編集特別委員会

6日 議会広報編集特別委員会

8日 議会広報編集特別委員会

全国市議会議長会より感謝状



感謝状を伝達される田中議長

編集後記

雨に映して 艶やかになる 紫陽花の姿
梅雨の真中の 縁側で 座してながむ
一服の涼

常の季節なら、こうした詩も詠めばこそ今年
の梅雨は水無月そのものとなり、四国の水
瓶早明浦ダムの貯水率も30%程度、県内各地
でも給水制限が厳しくなっています。昔から
讃岐平野は、ため池が沢山あります。日本屈
指の少雨量のため、干ばつに苦しんできた先
人の知恵や、古くは弘法大師、菅原道真など
の偉人たちが巨大な池造り工法を伝授し、現
在も治山、治水を含め十分に活用されていま
す。今特に危惧されるのは農業用水です。自
前の命の源である貯水池は、自前でできるだ
け確保する必要があるのではないのでしょうか。
この議会だよりが発刊される頃には、恵みの
雨にて解消されん事を心より願っています。
一方集中降雨をも無き事を祈りつつ。

尚、今議会も白熱したものとなり補正予算
の修正動議も提出され、議会としてもさらに
研鑽に努め、議員全員が頑張っていま
います。



2100 PRINTED WITH SOYINK
再生紙に、大豆油インクで印刷しています。